



防災情報共有システムについて

防災・技術センターでは、災害に備え、道路や河川などの各種情報を、国、北海道、市町村その他関係機関で相互に接続し共有する、防災情報共有システムの運用・管理を行っています。

災害に備える「防災情報」の共有化

北海道開発局では災害に備えるため道路、河川、気象等各種情報設備を整備してきました。(写真 - 1)

防災情報共有システム(写真 - 2)は、地域の防災を目的として、国・北海道・市町村その他関係機関の相互協力に基づき(図 - 1)、各々の所有している各種防災情報を専用のネットワークで共有することによって、災害対策に役立てるものです。

各防災関係機関が防災情報共有システムにより防災情報を共有することで、防災対策・災害対策に係る対応作業の効率化、台風・地震・津波等の広域かつ同時多発的な災害発生時における通行規制判断や応急復旧指示等の適切な実施、大規模災害発生時の円滑な避難誘導や減災等防災対応の総合的な改善を推進し、「災害に強い地域作り」を支援することができます。(写真 - 3)

(防災・技術センター 防災課 防災技術係)



写真 - 1 各種防災情報メニュー



写真 - 2 防災情報共有システムメイン画面

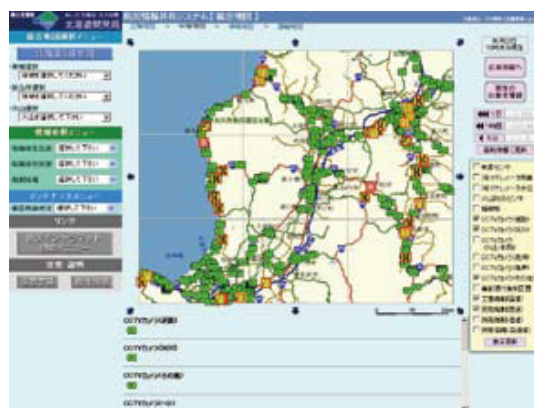


写真 - 3 各種情報の共有画面

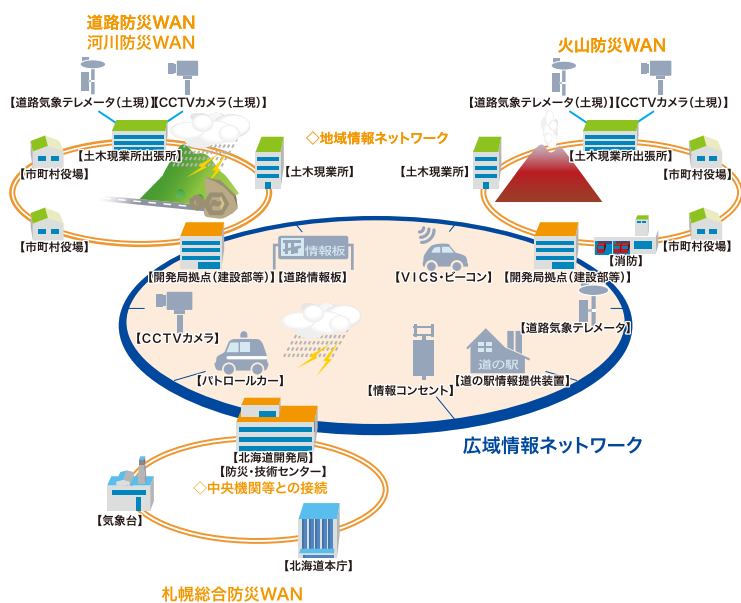


図 - 1 防災情報共有ネットワークイメージ